

自宅開放で長い支援

アジアの女性や障害者が作った手作り製品を販売、業訓練施設などに還元して



ひと・奈良・ひと

いる「チョウタリイ」店主山口悦子さん(西六)奈良市あやめ池南五。昨年九月から自宅の一部を、店舗のほかボランティア団体などの集会場として開放している。「チョウタリイ」とはネパール語で、人々が集まり休息し、新たな可能性に向けて巣立ってゆく場、という意味。名前の通り留学生

やガールスカウト、近所のお年寄りたちの憩いの場として、にぎわっている。

「単発的にお金を送るよりも、商品を通じて彼らの技術や考え方を知り、互いに認めあつてこそ支援も長続きすると思つたんです」

「ボランティアは人助けであると同時に、私のようなごく普通の主婦の自己実現のきっかけでもあるんです。いろんな人と知り合えるのが楽しくて」と語る。